

平成19年度事業報告書

**介護支援専門員業務に係る情報提供シートについて  
(利用者基本情報シート〔愛知県版〕)**

**平成20年3月**

**愛知県介護支援専門員支援会議**

## はじめに

平成12年に本格スタートしました介護保険制度は、6年目を迎えた平成18年4月から介護予防サービス及び地域密着型サービスが創設されるなど、大きな制度改正が行われたところですが、この制度の根幹をなす“高齢者の自立”を支援する専門職である「介護支援専門員」が制度の要であるとの位置づけは、現在においても変わることがないと考えます。

この愛知県介護支援専門員支援会議は、「介護支援専門員」の健全な育成を図り、その活動を支援することを目的とし、具体的な方策を総合的に協議するために平成13年8月に設置されました。

この会議では、平成18年度に「居宅介護支援専門員実態調査」を実施しましたが、その結果から介護支援専門員が抱える様々な問題が見えてきたところです。その中で問題の一つとして浮きぼりになったのが、「平成18年度本格事業開始した『地域包括支援センター』と介護支援専門員との連携がうまく出来ていないのでは・・・」ということでした。また、会議の委員からも「介護予防と要介護の間におけるケアプラン作成面での連携」という点が今後の問題、課題ではないかといった話が出たところであります。

こうしたことから、平成19年度の検討テーマを「地域包括支援センターと介護支援専門員の連携」とし、主に「介護予防と要介護の間のケアプラン作成における連携」にポイントを絞り検討を進めてきました。

その結果としてでき上がったのが、今回ご提案させていただきます「利用者基本情報シート〔愛知県版〕」であります。

このシートは、介護予防と要介護の間におけるスムーズな情報交換、また、より適切なケアプランの作成の観点から取りまとめたものです。

皆様方におかれましては、介護予防と要介護との間、あるいは要介護での「在宅」と「施設」との連携という面で、このシートの活用についてご検討いただきまして、利用者に適したより良いケアプランの作成に努めていただきたいと思います。

最後に、このシートを作成するに当たり、色々ご協力をいただきました、愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会と愛知県社会福祉士会の関係者には心よりお礼を申し上げます。

平成20年3月

愛知県介護支援専門員支援会議委員長

遠藤 英俊

## 目 次

### ◇はじめに

	P	
1 利用者基本情報（愛知県版）作成にあたって	1	～ 2
2 今回提案する利用方法		3
3 様式：利用者基本情報（愛知県版）	4	～ 5
4 様式：利用者基本情報 （愛知県版 補助シート：生活史シート）	6	～ 7
5 利用者基本情報《記入例・利用例》		
(1) 記入例（ケース：要支援）	8	～ 11
(2) 利用例		
ケース①（要支援⇒要介護で利用した場合）	12	～ 13
ケース②（要介護で利用した場合）		
▼例-1	14	～ 17
▼例-2	18	～ 21
6 参考様式：利用者基本情報（愛知県版）追加項目まとめ版		
(1) 様 式	22	～ 23
(2) 記入例	24	～ 25
添付書類		
愛知県介護支援専門員支援会議設置要綱	26	～ 28

## 1 利用者基本情報（愛知県版）作成にあたって

（作成の背景）

◆介護予防の地域包括支援センターと要介護の介護支援専門員業務との連携がなかなかうまくいっていないところがある。（平成18年度居宅介護支援専門員実態調査の結果からもそのことが見られる。）

◆特に連携が取れていないのは・・・ケアプラン作成に係る「情報交換、提供」という面では。



※要するに、利用者に係る大切な情報交換、提供が「介護予防」と「要介護」、あるいは「要介護」から「予防介護」の間で出来ていない。（このことは、要介護における「在宅サービス」と「施設サービス」の間などでも、実は同じとも言える。）

では、介護予防、要介護とも「より良いケアプラン」を作成していくためには  
どうすればよいか ⇒ そのために有効な情報交換資料の作成を検討！

結果

**利用者状況提供情報シート（愛知県版）**

## 利用者基本情報シート（愛知県版）

なぜ、介護予防用のシートを  
活用したのか？

⇒高齢者の状態像は要支援から要介護。

まずは、要支援で必要な情報の確保。

（認知症が進むと情報収集困難）

### 《作成のコンセプト》

※無理なく活用できる、継続性のある情報シートを目指す。

※極力介護支援専門員の余分な仕事に  
しない形の追求！

▼既存シート（利用者状況情報シート）の活用【無理なく活用】▼追加情報項目の絞り込み【無理なく活用】▼包括、居宅、施設で「共通」に利用出来る。【継続性】▼シート作成のしやすさ《記入例の作成》【無理なく活用、継続性】▼書けるところから記入。《書き足すイメージ》【無理なく活用、継続性】

**全ては利用者にとって、より良いケアプランを作成するために！！**

## 2 今回提案する利用方法

※このような活用方法を考えてみました。(是非ともご検討下さい。)

### ◎ まずは、介護予防で活用（地域包括支援センター等）

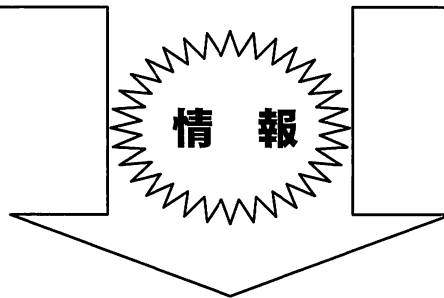
利用イメージ：介護予防から、要介護へ情報をつなげる

記入スタンス：記入は無理なく書けるところから。

▼生活情報の収集（生活史※こうした情報がより良いケアプランの作成につながることは多い。また、認知症が進むと、この辺りの情報の収集は困難）

▼新規に愛知県版様式の作成が困難な場合は、補助シート：生活史シート《P6～7》のみでも良いので記入してみる。（書ける範囲で良いので。）《記入例：P10～11》

▼また、参考様式「愛知県版（追加項目まとめ版）」《P22～23》を活用して、既存のシートとは別に情報を管理する形での活用も考えられる。《記入例：P24～25》



### ◎ より良いケアプラン作成のため

**重要な 情報 を「要介護」へつなげる**

※事務に支障がないということであれば、要介護から今回の様式を活用するのも良いのでは。

### **3 様式：利用者基本情報（愛知県版）**

利用者基本情報

(愛知県版)

作成担当者：

《基本情報》

相談日	年 月 日 ( )	来所・電話 その他 ( )	初回 再来 (前 / )	
本人の現状	在宅・入院又は入所中 ( )			
フリガナ 本人氏名	男・女	M・T・S	年 月 日生 ( ) 歳	
住 所	Tel	( )		
	FAX	( )		
日常生活	障害高齢者の日常自立度	自立・J1・J2・A1・A2・B1・B2・C1・C2		
自立度	認知症高齢者の日常自立度	自立・I・II a・II b・III a・III b・IV・M		
認定情報	非該当・要支1・要支2・要介1・要介2・要介3・要介4・要介5 有効期限：年 月 日～年 月 日(前回の介護度 )			
障害等認定	身障 ( ) , 療育 ( ) , 精神 ( ) , 難病 ( ) , . . . ( )			
本人の 住居環境	自宅・借家・一戸建て・集合住宅・自室の有無 ( ) 階, 住宅改修の有無			
経済状況	国民年金・厚生年金・障害年金・生活保護 . . .			
来所者 (相談者)			家族構成 ◎=本人, ○=女性, □=男性 ●■=死亡, ☆=キーパーソン 主介護者に「主」 副介護者に「副」 (同居家族は○で囲む)	
住 所 連絡先	続柄			
緊急連絡先	氏名	続柄		住所・連絡先

介護環境	主介護者	(氏名)	様(続柄)
	主介護者情報 (健康状態、仕事、 役割等々)		
	副介護者	有・無(氏名)	様(続柄)



《介護予防に関する事項》

今までの生活					
現在の生活 状況（どんな 暮らしを送 っているか）	1日の生活・すごし方			趣味・楽しみ・特技	
	時間	本人	介護者・家族		
				友人・地域との関係	

《現病歴・既往症と経過》（新しいものから書く・現在の状況に関連するものは必ず書く）

年月日	病名	医療機関・医師名 (主治医・意見作成者に☆)		経過	治療中の場合は内容
年 月 日			Tel	治療中 経過観察中 その他	
年 月 日			Tel	治療中 経過観察中 その他	
年 月 日			Tel	治療中 経過観察中 その他	
年 月 日			Tel	治療中 経過観察中 その他	

《現在利用しているサービス》

公的サービス	非公的サービス

地域包括支援センターを始め介護保険に係る事業の実施に当たり、利用者の状況を把握する必要があるときは、要介護認定・要支援認定に係る調査内容、介護認定審査会による判定結果・意見、及び主治医意見書と同様に、利用者基本情報、支援・対応経過シート、アセスメントシート等の個人に関する記録を、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、介護保険施設、主治医その他本事業の実施に必要な範囲で関係する者に提示することに同意します。

平成 年 月 日 氏名 印

## 4 様 式：利用者基本情報

(愛知県版 補助シート：生活史シート)

(補助シート)

利用者基本情報：生活史シート

利用者名	様	生年月日	M・T・S 年 月 日	住所	市 町 村
年 月	歳	暮らしの場所	私の暮らし、出来事	備 考	
暮らしの様子					
※暮らしの様子記載内容	毎日の習慣となっていること、食事の習慣、飲酒・喫煙の習慣、排泄の習慣・トイレ様式、お風呂・みだしなみ（湯の温度、歯磨き、ひげそり、髪をとかすなど）、おしゃれ・色の好み・履き物、好きな音楽・テレビ・ラジオ、家事（洗濯、掃除、買い物、料理、食事のしたく）、仕事（生活の糧として、社会的な役割として）、興味・関心・遊びなど、なじみのものや道具、得意な事／苦手なこと、性格・特徴など、信仰について、私の健康法（例：乾布摩擦など）、その他				

支 援 経 過  と  所 感	事業所名： _____ 氏名： _____     記入年月日： _____
	事業所名： _____ 氏名： _____     記入年月日： _____
	事業所名： _____ 氏名： _____     記入年月日： _____
	事業所名： _____ 氏名： _____     記入年月日： _____

## **5** 利用者基本情報《記入例・利用例》

### **(1)** 記入例（ケース：要支援）

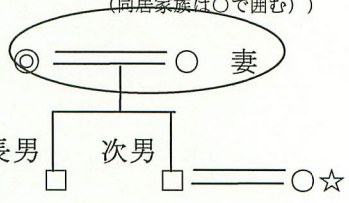
# 記入例

## 要支援のケース

利用者基本情報

(愛知県版)  
作成担当者：○△ □子

《基本情報》

相談日	平成 □○年○月△日 (○)	[乗所]・電話 その他 ( )	[初回] 再来 (前 / )	
本人の現状	[在宅]・入院又は入所中 ( )			
フリガナ 本人氏名	ア伊 知 愛知 太郎	[男]・女	M・T・S 0×年4月19日生 (△×) 歳	
住所	名古屋市 中村区 ○△町 □丁目 ○番	Tel	(052) △△△-0×□○	
		FAX	(052) △△△-0×△△	
日常生活	障害高齢者の日常自立度	[自立]・J1・J2・A1・A2・B1・B2・C1・C2		
自立度	認知症高齢者の日常自立度	[自立]・I・II a・II b・III a・III b・IV・M		
認定情報	非該当・[要支1]・要支2・要介1・要介2・要介3・要介4・要介5 有効期限：H×△年4月1日～ H×△年9月30日 (前回の介護度 無し)			
障害等認定	身障 ( ) , 療育 ( ) , 精神 ( ) , 難病 ( ) , . . . ( )			
本人の 住居環境	[自宅]・借家・[一戸建て]・集合住宅・自室の有無 ( 1 ) 階, 住宅改修の有無			
経済状況	国民年金・[厚生年金]・障害年金・生活保護 . . .			
来所者 (相談者)	愛知 花子		<b>家族構成</b> ◎=本人, ○=女性, □=男性 ●■=死亡, ☆=キーパーソン 主介護者に「主」 副介護者に「副」 (同居家族は○で囲む) 	
住所 連絡先	本人と同じ	続柄		妻
緊急連絡先	氏名	続柄		住所・連絡先
	愛知一郎	長男		名古屋市北区○○ 町□丁目○番 (052) 000-△△△△
	愛知二郎	次男	○○市○○町△△ -×× (0000) △△-×0△0	
			<b>家族関係等の状況</b> 子どもたちとは別居であるが、長男、次男との関係も悪くない。長男は独身であるが、次男は結婚しており、次男夫婦は定期的に親のところへ来ている。	

<div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">追加項目</div> 介護環境	主介護者	(氏名) 愛知花子様 (続柄) 妻	
	主介護者情報 (健康状態、仕事、役割等々)	専業主婦 年齢も高齢(○△歳)になり徐々に介護疲れもでてきている また、ここ1、2年風邪などで体調を崩すことが多い。	
	副介護者	有・[無] (氏名)	様 (続柄)

主介護者の代わりとなる者がいる場合は記載する。

出来るだけ詳しく、様々な情報を記入出来る方が良いが、まずは聞けたところを記入する形で良い。

《介護予防に関する事項》

今までの生活	名古屋市の隣町に生まれ、市内の電気関連の工場で長年勤務し定年を迎えた。67歳の時自家用車運転中に軽トラックに追突される。このことをきっかけに腰の調子が悪くなり病院への通院が始まり、年とともに通院回数も増えてきている。現在妻との二人暮らしであるが、妻も体調を崩すことが多くなってきている。若い頃から俳句に関心があり仕事の傍ら俳句同人会で活動していた。		
現在の生活状況（どんな暮らしを送っているか）	1日の生活・すごし方		趣味・楽しみ・特技
	たまに、散歩、買い物等で外に出かけることもあるが、最近、腰の痛みもひどく、家の中で横になっていることが多くなってきている。		俳句づくりが趣味 楽しみは俳句と、人との交流
	時間	本人	介護者・家族
	※起床から就寝までを時間をおって記載していく。（1日の平均的なスケジュール）		友人・地域との関係 近所の幼なじみとは現在も交流がある。

《現病歴・既往症と経過》（新しいものから書く・現在の状況に関連するものは必ず書く）

年月日	病名	医療機関・医師名 (主治医・意見作成者に☆)		経過	治療中の場合は内容
HΔ0年2月10日	腸炎癒着	D病院	☆	Tel (000) ΔΔ Δ-□□□Δ 治療中 経過観察中 その他	
HΔx年8月	腰痛症	D病院		Tel (000) ΔΔ Δ-□□□Δ 治療中 経過観察中 その他	コルセット着用中
不詳	慢性気管支炎	D病院		Tel (000) ΔΔ Δ-□□□Δ 治療中 経過観察中 その他	気管支拡張剤処方
年 月 日				Tel 治療中 経過観察中 その他	

《現在利用しているサービス》

公的サービス	同意書に下線部分を付け加えると良い。（個人情報保護の観点から）	非公的サービス
特になし		配食サービス（週2回）

地域包括支援センターを始め介護保険に係る事業の実施に当たり、利用者の状況を把握する必要があるときは、要介護認定・要支援認定に係る調査内容、介護認定審査会による判定結果・意見、及び主治医意見書と同様に、利用者基本情報、支援・対応経過シート、アセスメントシート等の個人に関する記録を、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、介護保険施設、主治医その他本事業の実施に必要な範囲で関係する者に提示することに同意します。

平成□○年△○月×△日 氏名 愛 知 太 郎 愛 知

今回提案の補助シート（生活史シート）についてもしっかりと確認の上承諾をもらおう。

要支援のケース

「年月」は開けるところまでで良い。  
分らない場合は不詳でも可

記入例

※この「生活史シート」は、全部きちんと「聞き出す」、「埋める」との感覚ではなく、「開けたところをまずは記入」との形で望む。(そして次につなげる。)

利用者基本情報：生活史シート

利 用 者 名	愛知太郎様		生年月日	M・T・S 〇×年4月19日	住 所	名古屋市中村区
年 月	歳	暮らしの場所	私の暮らし、出来事		備 考	
S〇×年5月	0	〇〇郡〇〇町	生誕、4人兄弟の次男として生まれる			
S◇〇年4月	18	〇×郡△〇町	(株)〇〇〇電気就職			
S□△年4月	27	名古屋市	結婚		社内結婚	
S□×年5月	30	名古屋市	長男誕生			
S□〇年6月	35	名古屋市	次男誕生			
S△〇年頃	40前後	名古屋市	気管支炎に悩まされ始める。			
H〇年	60	名古屋市	次男結婚、60歳で定年退職		永年勤続表彰を受ける	
H△年8月	61	名古屋市	〇〇シルバー人材センターに入会			
H△×年7月	67	名古屋市	自動車追突事故に遭う			
H△×年8月	67	名古屋市	D病院へ通院始まる(腰痛)			
H△〇年2月	70	名古屋市	腸炎癒着で入院		入院は1か月	
H△◇年	72	名古屋市	趣味の俳句会への出席が腰痛等で少なくなる。(俳句会の役職辞退)		役職は副会長	

現在の生活状況だけでなく、若い頃の生活情報があるとより良いケアプランにつながると思われる。(この辺りの情報は認知症が進むと聞けなくなる。)

備考欄は「私の暮らし、出来事」の参考となる事項を出来るだけ記入しておく。

「暮らしの様子」は下表にある記載内容を参考に、開けたことを記入する。

暮らしの様子	<p>自宅での妻との生活を本人は希望している。</p> <p>お酒を夕食の際に少し飲むのが習慣となっている。タバコは若い頃は吸っていたが、気管支の調子が悪くなってからは吸わなくなった。元々社交的で外出も好きであった。また、外出の際にはいつも帽子を被って出て行く。お風呂も大好きで近くのスーパー銭湯にも5年前までは良く通っていた。大相撲も好きで、名古屋場所は良く見に行ったとのこと。排便は毎日有り、トイレは様式。ひげも毎日そって清潔感がある。</p>
※暮らしの様子記載内容	<p>毎日の習慣となっていること、食事の習慣、飲酒・喫煙の習慣、排泄の習慣・トイレ様式、お風呂・みだしなみ(湯の温度、歯磨き、ひげそり、髪をとかすなど)、おしゃれ・色の好み・履き物、好きな音楽・テレビ・ラジオ、家事(洗濯、掃除、買い物、料理、食事のしたく)、仕事(生活の糧として、社会的な役割として)、興味・関心・遊びなど、なじみのものや道具、得意な事/苦手なこと、性格・特徴など、信仰について、私の健康法(例：乾布摩擦など)、その他</p>



支 援 経 過  と  所 感	事業所名：〇〇〇センター 氏名：〇△ □子 本人も自宅での妻との生活を希望しているので、現在の生活環境を継続出来るように考えてきた。子どもたちとの関係は悪くないが、日ごろから協力を得るのは難しいと思える。妻の体調が悪くなることも多くなったので、妻の介護の負担を少なくしながら、今後とも自宅での生活を維持して行けると良いと思います。
	事業所名： _____ 氏名： _____ 記入年月日：H×△年9月30日
	この部分は、担当者が、どのような思いで、ケース対象者に関わってきたのか、どのような思いでケアプランを立ててきたのかと言うことを主に、簡潔に内容をまとめて記入する。(次のケアプラン担当者へ、現担当者の思いを伝える・・・といったイメージ)
	事業所名： _____ 氏名： _____ 記入年月日： _____
	事業所名： _____ 氏名： _____ 記入年月日： _____
	事業所名： _____ 氏名： _____ 記入年月日： _____

## **5 利用者基本情報《記入例・利用例》**

### **(2) 利用例**

ケース① (要支援⇒要介護で利用した場合)

《 利用例 》  
要支援⇒要介護と  
つながるケース

ケース①

記入例

※地域包括支援センター等から入手した  
「生活史シート」に新たに得た情報を追  
加記入する。表内の下線部分が、追加記  
入例

利用者基本情報：生活史シート

利用者名	愛知太郎様		生年月日	M・T・S OX年4月19日	名古屋市 町 村
年 月	歳	暮らしの場所	私の暮らし、出来事		備 考
S○×年5月	0	○○郡○○町	生誕、4人兄弟の次男として生まれ る		
<u>S◇◇年</u>	<u>15</u>	<u>○○郡○○町</u>	<u>全国○○相撲大会準優勝</u>		
<u>S◇△年</u>	<u>16</u>	<u>○○郡○○町</u>	<u>両親が死亡</u>		<u>交通事故</u>
S◇○年4月	18	○×郡△○町	(株)○○○電気就職		
S□△年4月	27	名古屋市	結婚		社内結婚
S□×年5月	30	名古屋市	長男誕生		
S□○年6月	35	名古屋市	次男誕生		
<u>S□◇年</u>	<u>37</u>	<u>名古屋市</u>	<u>新居へ引越し</u>		<u>社宅から</u>
S△○年頃	40前後	名古屋市	気管支炎に悩まされ始める。		
H○年	60	名古屋市	次男結婚、60歳で定年退職		永年勤続表彰を受ける
H△年8月	61	名古屋市	○○シルバー人材センターに入会		
H△×年7月	67	名古屋市	自動車追突事故に遭う		
H△×年8月	67	名古屋市	D病院へ通院始まる（腰痛）		
H△○年2月	70	名古屋市	腸炎癒着で入院		入院は1か月
<u>H△○年</u>	<u>70</u>	<u>名古屋市</u>	<u>弟死亡</u>		<u>兄弟全員死亡</u>
H△◇年	72	名古屋市	趣味の俳句会への出席が腰痛等で 少なくなる。（俳句会の役職辞退）		役職は副会長
暮らしの様子	<p>自宅での妻との生活を本人は希望している。 お酒を夕食の際に少し飲むのが習慣となっている。タバコは若い頃は吸っていたが、 気管支の調子が悪くなってからは吸わなくなった。元々社交的で外出も好きであ った。また、外出の際にはいつも帽子を被って出て行く。お風呂も大好きで近くの スーパー銭湯にも5年前までは良く通っていた。大相撲も好きで、名古屋場所は良 く見に行ったとのこと。排便は毎日有り、トイレは洋式。ひげも毎日そっていて清 潔感がある。<u>食事では辛いものが大好物。</u></p>				
※暮らしの様 子記載内容	<p>毎日の習慣となっていること、食事の習慣、飲酒・喫煙の習慣、排泄の習慣・トイレ様式、お風呂・みだ しなみ（湯の温度、歯磨き、ひげそり、髪をとかすなど）、おしゃれ・色の好み・履き物、好きな音楽・ テレビ・ラジオ、家事（洗濯、掃除、買い物、料理、食事のしたく）、仕事（生活の糧として、社会的な 役割として）、興味・関心・遊びなど、なじみのものや道具、得意な事／苦手なこと、性格・特徴など、 信仰について、私の健康法（例：乾布摩擦など）、その他</p>				

記載内容は、  
利用者の生活  
に関連が深い  
と思われること  
を記載

ケース①※応用

《利 用 例》 要支援⇒要介護（事業者1）⇒要介護（事業者2）とつながるケース

記入例

支 援 経 過  と  所 感	事業所名：〇〇〇センター 氏名：〇△ □子 本人も自宅での妻との生活を希望しているので、現在の生活環境を継続出来るように考えてきた。子どもたちとの関係は悪くないが、日ごろから協力を得るのは難しいと思える。妻の体調が悪くなることも多くなったので、妻の介護の負担を少なくしながら、今後とも自宅での生活を維持して行けると良いと思います。
	記入年月日：H×△年9月30日
	事業所名：〇△◇居宅介護支援事業所(事業者1)氏名：◇◇ ○美 本人も現在の自宅での生活を希望していたので、生活環境の継続を念頭におき計画を立ててきたが、妻の長期入院により、残念ながら現在の家を出て次男夫婦宅への転居を余儀なくされた。本人は施設入所の希望はしていないことと、まだまだ自分の力による生活の意欲と力もあると感じたので、通所系サービスを多めに組み込んでいた。ただ、最近少し記憶力が悪くなってきた点が気かりである。なお、このケースのキーマンは次男の嫁になると思われる。
	記入年月日：H×■年8月31日
	事業所名： 氏名：
	<p><b>この部分は、担当者が、どのような思いで、ケースに関わってきたのか、また、どのような思いでケアプランを立ててきたのかと言うことを主に、簡潔に内容をまとめて記入する。(次の担当者へ、現担当者の思いとアドバイスを伝える…といったイメージ)</b></p>
	記入年月日：
	事業所名： 氏名：
	記入年月日：

## **5 利用者基本情報《記入例・利用例》**

### **(2) 利用例**

ケース② (要介護でこのシートを利用した場合)

#### **▼ 例-1**

《 利用 例 》

要介護で利用し  
た場合(例-1)

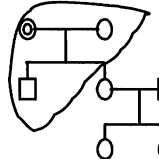
記 入 例

ケース②

利用者基本情報

(愛知県版)  
作成担当者：○△ □男

《基本情報》

相 談 日	〇〇年〇月△日 (〇)	来所・電話 その他 ( )	初回 再来 (前 / )	
本人の現状	在宅・入院又は入所中 ( )			
フリガナ 本人氏名	カキヤ 知 名古屋 太郎	男・女	M・T・S 〇年△月×日生 (△〇) 歳	
住 所	名古屋市△〇区〇町×-〇	Tel FAX	(052) 〇〇〇-△△△△ (052) 〇〇〇-△△△△	
日常生活 自立度	障害高齢者の日常自立度 認知症高齢者の日常自立度	自立・JI・J2・A1・A2・B1・B2・C1・C2 自立・I・IIa・IIb・IIIa・IIIb・IV・M		
認定情報	非該当・要支1・要支2・要介1・要介2・要介3・要介4・要介5 有効期限：〇年4月 1 日～ △年 4 月30日 (前回の介護度5 )			
障害等認定	身障 (2) , 療育 ( ) , 精神 ( ) , 難病 ( ) , . . . ( )			
本人の 住居環境	自宅・借家・一戸建て・集合住宅・自室の有無 ( 1 ) 階, 住宅改修の有無			
経済状況	国民年金・厚生年金・共済年金・障害年金・生活保護 . . .			
来所者 (相談者)	名古屋 花子		家族構成 ◎=本人, ○=女性, □=男性 ●■=死亡, ☆=キヤ-ツ 主介護者に「主」 副介護者に「副」 (同居家族は○で囲む) 	
住 所 連絡先	本人と同じ	続 柄 妻		
緊急連絡先	氏名	続柄		住所・連絡先
	名古屋一郎	長男		本人と同じ 〇〇市△△町◇ -□ (0000) △△-x000
	名古屋良子	長女		
			家族関係等の状況 長男と同居しているが、長男は介護に直接的に関わっていない。長女は遠方に住んでおり、時々来訪している。関係は良好。	

介護環境	主介護者	(氏名) 名古屋 花子 様 (続柄) 妻
	主介護者情報 (健康状態、仕事、役割等々)	専業主婦 年齢も高齢になり徐々に介護疲れもでてきている。 本人の通所利用時に外出する (買い物など) また、短期入所中に旅行に行くこともある。
	副介護者	有・無 (氏名) 様 (続柄)

《介護予防に関する事項》

今までの生活	元々は社交的で、友人も多かった。旅行ずきで、妻も文化教室に通うことも多かった。			
現在の生活状況（どんな暮らしを送っているか）	1日の生活・過ごし方		趣味・楽しみ・特技	
	家ではベッド上の生活が中心。		通所サービスへ出かけるのが、楽しみにしている	
	時間	本人	介護者・家族	
	※起床から就寝までを時間をおって記載していく。（1日の平均的なスケジュール）			友人・地域との関係 近所との交流はあるが、減少してきている

《現病歴・既往症と経過》（新しいものから書く・現在の状況に関連するものは必ず書く）

年月日	病名	医療機関・医師名 (主治医・意見作成者に☆)		経過	治療中の場合は内容
S〇年△月7日	脳出血	D病院	☆	Tel (〇〇〇) 〇〇 〇-〇〇〇〇 治療中 経過観察中 その他	軽度麻痺残る 生活の支障なし
H△年×月	心筋梗塞	D病院		Tel (〇〇〇) 〇〇 〇-〇〇〇〇 治療中 経過観察中 その他	ステント施行 退院後、自宅療養
H▽年◇月	外傷性脳出血	M病院入院		Tel (〇〇〇)〇〇〇 -〇〇〇〇 治療中 経過観察中 その他	退院後、自宅療養
H××年5月	総胆管結石	D病院入院		Tel (〇〇〇)〇〇〇 -〇〇〇〇 治療中 経過観察中 その他	退院後、自宅療養

《現在利用しているサービス》

公的サービス	非公的サービス
通所リハビリテーション 訪問介護 訪問リハビリテーション	

このシートの利用が、要介護が「初」である場合は、下線にあるような内容で、利用者から同意を得ておく。

介護保険に係る事業の実施に当たり、利用者の状況を把握する必要があるときは、要介護認定に係る調査内容、介護認定審査会による判定結果・意見、及び主治医意見書と同様に、この利用者基本情報等の個人に関する記録を、他の居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、介護保険施設、主治医その他本事業の実施に必要な範囲で関係する者に提示することに同意します。

平成〇〇年△〇月×△日 氏名 名古屋 太郎 印

名古屋

《利用例》  
要介護のケース  
(例-1)

記入例

ケース②

(補助シート)

利用者基本情報：生活史シート

利用者名	名古屋太郎様		生年月日	M・T・ <input checked="" type="checkbox"/> ○年△月×日	住所	名古屋市 町 村
年 月	歳	暮らしの場所	私の暮らし、出来事		備 考	
S○年5月	0	名古屋市	生誕、4人兄弟の長男として生まれる			
S△年3月	27	名古屋市	結婚 中学校の教諭			
S○○年4月	30	名古屋市	長女誕生			
S○△年2月	35	名古屋市	長男誕生			
S△○年11月	56	名古屋市	小学校の教諭			
S×年6月	60	名古屋市 名古屋市	長女結婚 60歳で定年退職 退職後、知り合いの珠算教室を手伝っていた。			
H×年8月	62	名古屋市	初孫誕生 (女兒)			
H△年9月	66	名古屋市	孫2人目誕生			
H○○年8月	70	名古屋市	心筋梗塞発症、D病院入院			
H○△年3月	72	名古屋市	階段から転倒、外傷性頭蓋内出血でM病院入院 自宅退院、退院後D病院へ通院			
H△△年6月	73	名古屋市	徐々に動きが鈍くなり、介助量が増してくる。 介護保険サービスの利用となる		要介護3 認定	
H××年5月	75	名古屋市	総胆管結石で入院、自宅退院後さらに介助量が増す。介助がなければほぼ寝たきり状態、その後短期入所等を利用して現在に至る。徐々に妻の介護にも負担が増してきている		要介護5	
暮らしの様子	妻の介助で自宅での生活を希望している。 元々は、外出好きで夫婦で旅行に毎年行っていた。通所については、楽しみにしている。家屋は2階建ての持ち家、喫煙はなく、飲酒は晩酌程度、排便は毎日、トイレは洋式。ひげは毎日そり、清潔感がある。テレビを見ることは好きで、人との交流も好んでいたが、徐々にその機会は減ってきている。					
※暮らしの様子記載内容						



<p>支援経過</p> <p>と</p> <p>所感</p>	<p>事業所名：A介護支援事業所    氏名：○△      □男</p> <p>妻との自宅での生活をできるだけ継続するようにしてきた。</p> <p>同居の長男の協力は得にくい状況（病気がちのため）で、また、長女も遠方にいるため、こちらも協力は得にくい。こうした状況が続いているため徐々に妻の健康状態も、不安定になる時もある。さらに最近では心臓の関係で通院が必要となり、この点でも注意が必要となっている。</p> <p>今後もできるだけ今の妻との生活を維持できるように支援していきたい。</p> <p style="text-align: right;">記入年月日：平成××年11月25日</p>
	<p>事業所名：    氏名：</p>    <p style="text-align: right;">記入年月日：</p>
	<p>事業所名：    氏名：</p>    <p style="text-align: right;">記入年月日：</p>
	<p>事業所名：    氏名：</p>    <p style="text-align: right;">記入年月日：</p>

## **5 利用者基本情報《記入例・利用例》**

### **(2) 利用例**

ケース② (要介護でこのシートを利用した場合)

#### **▼ 例一2**

《 利用 例 》

要介護で利用し  
た場合(例-2)

記 入 例

ケース②

利用者基本情報

(愛知県版)

作成担当者：〇〇 〇子

《基本情報》

相 談 日	平成 20年〇月〇日(月)	居所・電話 その他( )	初回 再来(前〇/△)	
本人の現状	在宅・入院又は入所中( )			
フリガナ 本人氏名	トヨハシ ハナコ 豊橋 花子	男・ <input checked="" type="checkbox"/> 女	M・T・ <input checked="" type="checkbox"/> S 〇年3月5日生(〇×)歳	
住 所	愛知県〇〇市〇△町△番地の〇	TEL FAX	(0500)〇〇-〇×◇〇 なし( )	
日常生活 自立度	障害高齢者の日常自立度 認知症高齢者の日常自立度	自立・J1・J2・ <input checked="" type="checkbox"/> A1・A2・B1・B2・C1・C2 自立・ <input checked="" type="checkbox"/> I・IIa・IIb・IIIa・IIIb・IV・M		
認定情報	非該当・要支1・要支2・要介1・ <input checked="" type="checkbox"/> 要介2・要介3・要介4・要介5 有効期限：H×△年〇月1日～H×△年×月30日(前回の介護度 要介護2)			
障害等認定	身障(体幹機能障害2級),療育( ),精神( ),難病( ), ・( )			
本人の 住居環境	自宅・借家・ <input checked="" type="checkbox"/> 一戸建て・集合住宅・自室の <input checked="" type="checkbox"/> 有無(1)階, 住宅改修の <input checked="" type="checkbox"/> 有無			
経済状況	<input checked="" type="checkbox"/> 国民年金・ <input checked="" type="checkbox"/> 厚生年金・障害年金・生活保護・・・			
来所者 (相談者)	豊橋 太郎		<b>家族構成</b> ◎=本人, ○=女性, □=男性 ●=死亡, ☆=キーマン 主介護者に「主」 副介護者に「副」 ○短 (同居家族は○で囲む) 家族関係等の状況 夫婦二人暮らし。娘はいるが、 市外の飲食店に嫁ぎ、忙しいため 2ヶ月に1回程度の来所。 隣市に住む姪が月10日ほど、援 助している。	
住 所 連絡先	同居	続柄 夫		
緊急連絡先	氏名	続柄		住所・連絡先
	豊橋 洋子	姪		□市〇〇町〇番 (0000)△△-x0△0

介護環境	主介護者	(氏名) 豊橋 洋子様 (続柄) 姪
	主介護者情報 (健康状態、仕事、役割等々)	姪が、娘の代わりに頻繁に援助している。健康状態も良好。仕事はしていなく、夫婦二人で隣市に在住。15分もかからないので、買い物や通院、役所への手続等、外部への支援を中心に月10日程、関わっている。
	副介護者	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無 (氏名) 豊橋 太郎 様 (続柄) 夫

《介護予防に関する事項》

今までの生活	夫婦二人で、日々助け合って生活している。 本人は不自由ながらも、できる範囲で工夫して主婦業を担っている。		
現在の生活 状況（どんな暮らしを送っているか）	1日の生活・すごし方		趣味・楽しみ・特技
	神様のお供えもの、家事を時間をかけて行い、横になる時間ももつ。		花を育てたり、テレビを見たりする。時代劇が好き。
	時間	本人	
	※起床から就寝までを時間をおって記載していく。（1日の平均的なスケジュール）		友人・地域との関係 長年住んでいるため、近所つきあいはある。

《現病歴・既往症と経過》（新しいものから書く・現在の状況に関連するものは必ず書く）

年月日	病名	医療機関・医師名 (主治医・意見作成者に☆)		経過	治療中の場合は内容
年 月 日 (不詳)	高血圧	〇〇病院	☆	Tel (〇〇〇〇) - △△-□〇□ △	治療中 経過観察中 その他 服薬中
H〇×年 9月6日	脳梗塞	〇〇病院	☆	Tel (〇〇〇〇) - △△-□〇□ △	治療中 経過観察中 その他 経過観察中
年 月 日				Tel	治療中 経過観察中 その他
年 月 日				Tel	治療中 経過観察中 その他

《現在利用しているサービス》

公的サービス	非公的サービス
訪問介護 通所介護	配食サービス 訪問マッサージ

このシートの利用が、要介護が「初」である場合は、下線にあるような内容で、利用者から同意を得ておく。

介護保険に係る事業の実施に当たり、利用者の状況を把握する必要があるときは、要介護認定に係る調査内容、介護認定審査会による判定結果・意見、及び主治医意見書と同様に、この利用者基本情報等の個人に関する記録を、他の居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、介護保険施設、主治医その他本事業の実施に必要な範囲で関係する者に提示することに同意します。

平成〇〇年△〇月×△日 氏名 豊 橋 花 子 豊橋印

《利用例》  
要介護のケース  
(例-2)

記入例

ケース②

(補助シート)

利用者基本情報：生活史シート

利用者名	豊橋 花子様	生年月日	M・T・ <input checked="" type="checkbox"/> 〇年3月5日	住所	〇〇市
年月	歳	暮らしの場所	私の暮らし、出来事	備考	
昭和〇年	0歳	〇〇市	〇〇市で誕生		
昭和△年	16歳	△△市	兄弟6人 末の女の子 奉公に出て、3年生活する。	家事見習い等	
昭和△×年	22歳	〇〇市	豊橋太郎さんと結婚し、自宅 近くの商店街に店舗を借りて 夫とともに惣菜店を営む。	経理等、ともに働く 。	
昭和□×年	24歳	〇〇市	長女出産	夫が主に働く。	
昭和◇〇年	36歳	〇〇市	商店街の再開発があり、 店をたたむことになる。		
昭和◇×年	37歳	〇〇市	花子さんは、近所の会社で事務 系の仕事に就く。	夫は市内の工場で勤務 。	
昭和×〇年	50歳	〇〇市	長女が市外の飲食店に嫁ぎ、 夫婦二人暮らしになる。		
昭和〇〇年	51歳	〇〇市	花子さんは、会社を退職し、 家事に専念することになる。	趣味だった、庭の手 入れ、花を植えたり 農協の旅行に行ったり した。	
暮らしの様子	<p>主婦として、家事、子育てをしっかりとこなし、生活の管理も夫と相談しながらも中心に担ってきた。神様のお供えものは切らしたことがなく、それから一日が始まる生活を続けてきた。</p> <p>温厚な性格で近所つきあいや親族とのつきあいもよく、誘われれば、旅行や集まりにも参加する等、社交的な生活を送ってきた。</p> <p>特にお花が好きで、庭にはいつもお花が咲くように手入れをしていた</p>				
※暮らしの様子記載内容	<p>毎日の習慣となっていること、食事の習慣、飲酒・喫煙の習慣、排泄の習慣・トイレ様式、お風呂・みだしなみ(湯の温度、歯磨き、ひげそり、髪をとかすなど)、おしゃれ・色の好み・履き物、好きな音楽・テレビ・ラジオ、家事(洗濯、掃除、買い物、料理、食事のしたく)、仕事(生活の糧として、社会的な役割として)、興味・関心・遊びなど、なじみのものや道具、得意な事/苦手なこと、性格・特徴など、信仰について、私の健康法(例：乾布摩擦など)、その他</p>				

ケアプラン作成に参考となる支援  
経過等の情報は出来るだけ記載  
しておくが良い。

支 援 経 過  と  所 感	<p>事業所名： ○○在宅介護支援センター 氏名：□□ □男</p> <p>介護保険制度開始前より、身体障害者の制度利用やサービス利用をしてきている。ヘルパー、配食サービス、電動ベッドの給付、社会福祉協議会の車椅子の無料貸し出し。 住宅改修を身体障害者制度で利用。</p> <p style="text-align: right;">記入年月日：○△年□月□日</p>
	<p>事業所名：○○事業所 氏名：○○ ○子</p> <p>○○在宅介護支援センターより、平成12年に紹介され引き継いだ。必要な訪問介護、通所介護、配食サービス、また、訪問マッサージを利用し、夫も要支援となったため、一緒に訪問介護サービスを利用している。介護保険での住宅改修を実施し屋内にトイレを増設した。現在の自宅での生活を出来るだけ維持していきたいと考える。</p> <p style="text-align: right;">記入年月日：○×年○月○日</p>
	<p>事業所名： 氏名：</p>
	<p style="text-align: right;">記入年月日：</p>
	<p>事業所名： 氏名：</p> <p style="text-align: right;">記入年月日：</p>

**6 参考様式：利用者基本情報（愛知県版）**

追加項目まとめ版

**（1）様式**

参考様式（追加項目まとめ版）

利用者基本情報（愛知県版）：生活史等シート

利用者名	様	生年月日	M・T・S 年 月 日	住所	市町村
年 月	歳	暮らしの場所	私の暮らし、出来事	備 考	
暮らしの様子					
※暮らしの様子記載内容	<p>毎日の習慣となっていること、食事の習慣、飲酒・喫煙の習慣、排泄の習慣・トイレ様式、お風呂・みだしなみ（湯の温度、歯磨き、ひげそり、髪をとかすなど）、おしゃれ・色の好み・履き物、好きな音楽・テレビ・ラジオ、家事（洗濯、掃除、買い物、料理、食事のしたく）、仕事（生活の糧として、社会的な役割として）、興味・関心・遊びなど、なじみのものや道具、得意な事／苦手なこと、性格・特徴など、信仰について、私の健康法（例：乾布摩擦など）、その他</p>				



介護環境	主介護者	(氏名)	様 (続柄)
	主介護者情報 (健康状態、仕事、役割等々)		
	副介護者	有・無 (氏名)	様 (続柄)
支援経過 と 所感	事業所名 :	氏名 :	
	記入年月日 :		
	事業所名 :	氏名 :	
	記入年月日 :		
支援経過 と 所感	事業所名 :	氏名 :	
	記入年月日 :		
	事業所名 :	氏名 :	
	記入年月日 :		
支援経過 と 所感	事業所名 :	氏名 :	
	記入年月日 :		
	事業所名 :	氏名 :	
	記入年月日 :		

## **6 参考様式：利用者基本情報（愛知県版）**

追加項目まとめ版

**(2) 記入例**

「年月」は聞けるところまでで良い。分らない場合は不詳でも可

記入例(追加項目まとめ版)

利用者基本情報(愛知県版) : 生活史等シート

利 用 者 名	愛知太郎様		生 年 月 日	M・T・S O×年4月19日	住 所	名古屋 <sup>市</sup> <small>町 村</small>
年 月	歳	暮らしの場所	私の暮らし、出来事		備 考	
S O ×年5月	0	〇〇郡〇〇町	生誕、4人兄弟の次男として生まれる			
S ◇ ○年4月	1 8	〇×郡△〇町	(株) 〇〇〇電気就職			
S □ △年4月	2 7	名古屋市	結婚		社内結婚	
S □ ×年5月	3 0	名古屋市	長男誕生			
S □ ○年6月	3 5	名古屋市	次男誕生			
S △ ○年頃	4 0 前後	名古屋市	気管支炎に悩まされ始める。			
H ○ 年	6 0	名古屋市	次男結婚、60歳で定年退職		永年勤続表彰を受ける	
H △ 年8月	6 1	名古屋市	〇〇シルバー人材センターに入会			
H △ ×年7月	6 7	名古屋市	自動車追突事故に遭う			
H △ ×年8月	6 7	名古屋市	D病院へ通院始まる(腰痛)			
H △ ○年2月	7 0	名古屋市	腸炎癒着で入院		入院は1か月	
H △ ◇年	7 2	名古屋市	趣味の俳句会への出席が腰痛等で少なくなる。(俳句会の役職辞退)		役職は副会長	

現在の生活状況だけでなく、若い頃の生活情報があるとより良いケアプランにつながると思われる。(この辺りの情報は認知症が進むと聞けなくなる。)

備考欄は「私の暮らし、出来事」の参考となる事項を出来るだけ記入しておく。

「暮らしの様子」は下表にある記載内容を参考に、聞けたことを記入する。

暮らしの様子	<p>自宅での妻との生活を本人は希望している。</p> <p>お酒を夕食の際に少し飲むのが習慣となっている。タバコは若い頃は吸っていたが、気管支の調子が悪くなってからは吸わなくなった。元々社交的で外出も好きであった。また、外出の際にはいつも帽子を被って出て行く。お風呂も大好きで近くのスーパー銭湯にも5年前までは良く通っていた。大相撲も好きで、名古屋場所は良く見に行ったとのこと。排便は毎日有り、トイレは様式。ひげも毎日そって清潔感がある。</p>
※暮らしの様子記載内容	<p>毎日の習慣となっていること、食事の習慣、飲酒・喫煙の習慣、排泄の習慣・トイレ様式、お風呂・みだしなみ(湯の温度、歯磨き、ひげそり、髪をとかすなど)、おしゃれ・色の好み・履き物、好きな音楽・テレビ・ラジオ、家事(洗濯、掃除、買い物、料理、食事のしたく)、仕事(生活の糧として、社会的な役割として)、興味・関心・遊びなど、なじみのものや道具、得意な事/苦手なこと、性格・特徴など、信仰について、私の健康法(例:乾布摩擦など)、その他</p>

介護環境	主介護者	(氏名) 愛 知 花 子 様 (続柄) 妻
	主介護者情報 (健康状態、仕事、役割等々)	専業主婦 年齢も高齢(○△歳)になり徐々に介護疲れもでてきている また、ここ1、2年風邪などで体調を崩すことが多くなっている。
	副介護者	有・ <input type="checkbox"/> 無 (氏名) 様 (続柄)
支援経過 と 所 感	事業所名：○○○センター 氏名：○△ □子 本人も自宅での妻との生活を希望しているので、現在の生活環境を継続出来るように考えてきた。子どもたちとの関係は悪くないが、日ごろから協力を得るのは難しいと思える。妻の体調が悪くなることも多くなったので、妻の介護の負担を少なくしながら、今後とも自宅での生活を維持し行けると良いと思います。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="color: red; text-align: center;">この部分は、担当者が、どのような思いで、ケース対象者に関わってきたのか、どのような思いでケアプランを立ててきたのかと言うことを主に、簡潔に内容をまとめて記入する。 (次のケアプラン担当者へ、現担当者の思いを伝える・・・といったイメージ)</p> </div>	
	事業所名： _____	氏名： _____
		記入年月日： _____
	事業所名： _____	氏名： _____
		記入年月日： _____